

「平成30年度技術協力活用型・新興国市場開拓事業（インフラ海外展開支援）  
ベトナムAPECピアレビュー及び能力構築事業専門家派遣事業」実施報告書

1. 業務日程

日時		予定
12月16日	日	日本→ベトナム（ハノイ）
12月17日	月	講義（Basic Knowledge of PPP and Other Methods）
12月18日	火	講義（Case Study in Road and Water & Sewerage sector）
12月19日	水	講義（Specific topics）
12月20日	木	ベトナム（ハノイ）→日本

※会場は Pullman Hanoi Hotel in Hanoi

2. 業務内容の報告

【日時：12月17日（月）13時00～15時00】

（1）タイトル：Basic Knowledge of PPP in Viet Nam in Comparison with Global Practices

（2）講義内容・発言要約

- ・世界銀行やADBのデータを用いたベトナム国PPPの現状と特徴
- ・PPPの基本モダリティ（コンセッション、オフテイク、アベイラビリティ）の説明
- ・PPP事業におけるVFM（Value For Money）の意義の解説

（3）参加者からの意見・質問

- ・ベトナム法制度の動きについて、参加者より説明があった。
- ・ベトナム推進体制の国ごとの違いについて議論がなされた。
- ・VFMの基本コンセプトについて確認がなされた。

【日時：12月18日（火）9時30～11時30】

（1）タイトル：PPP Project Cycle: Process and Success Factors

（2）講義内容・発言要約

- ・昨日の講義を踏まえPPPサイクルの流れとポイントを簡単に解説。
- ・その後、参加型の形をとり、参加者の立場と問題意識についてプレゼンをしてもらった。

（3）参加者からの意見質問

- ・PPP推進の重要性に関する意見が述べられた。
- ・ベトナムで特徴的な、BT方式に関する問題点が述べられた。
- ・地方自治体（人民委員会）によるPPP実施の現状と課題が述べられた。

- ・異なる機関からの出席者同士の意見交換等により、相互理解が深められた。

【日時：12月19日（水）14時45～16時15】

（1）タイトル：PPP Project Financing and Financial Analysis

（2）講義内容・発言要約

- ・PPP事業における財務分析の実施手順
- ・財務分析の前提条件や仮定の設定方法
- ・Financial IRR や Equity IRR などのキーとなる財務指標の解説
- ・エクセルを使った財務シミュレーション

（3）参加者からの質問

- ・自身で操作できるよう、エクセルファイル共有の依頼があった。
- ・プロジェクトファイナンスの方法やキャッシュフローへの反映方法について質問があった。
- ・適切な事業期間の設定について質問がなされた。

【日時：12月19日（水）16時15～16時45】

（1）タイトル：Q&A and Wrap up, and fill out questionnaire

（2）発言要約

- ・参加者が多忙な中、三日間で集中的な講義を行い、PPPに関する基礎的な理解を得ることができるとともに、参加者間で活発な意見提示や議論が行われたことを高く評価。
- ・一方で、参加者数が限られていたこと、或いはMOTやハノイ市以外の出席がなかったことについては、次回開催される場合には改善の必要がある旨を伝えた。

（3）参加者からの意見・質問

- ・カリキュラムが充実しており、短期間でとても勉強になったとのフィードバックがあった。
- ・参加型の研修することにより、一方的な講義でなく、参加者自身が積極的に意見表明や議論を行うことができ、研修の効果が高まった。
- ・APECガイドブック・ガイドラインについては、今後の実務において、適宜参照していきたいとの声が聞かれた。
- ・また、可能であれば次回の研修を行ってほしいとの声が聞かれた。ただし、年末は忙しいため回避してほしいこと、および開催場所としてもハノイ以外の場所も検討した方が良いとの意見が寄せられた。

以 上